

アデノウイルス 感染症



監修：静岡厚生病院
小児科 診療部長
田中 敏博 先生



もくじ

- Q1 アデノウイルスとは？
- Q2 主な症状は？
- Q3 検査方法は？
- Q4 どのような治療方法がありますか？
- Q5 感染経路は？
- Q6 アデノウイルスに感染しないためには？
- Q7 学校や職場はいつから行けますか？



Q₁ アデノウイルスとは？

A₁ アデノウイルスは一般的なかぜの原因ウイルスの一つで、たくさんの型（種類）があります。型によって目の症状、呼吸器症状、胃腸症状、さらには出血性膀胱炎、尿道炎、肝炎など様々な症状が報告されていますが、ほとんどの方が重症化することなく軽快していきます。

特に乳児や幼児で発症することが多い感染症ですが、一度感染しても免疫がつきにくく、生涯にわたって何度もかかる可能性があります。一年を通じて感染はありますが、特に春から夏にかけてと冬に流行することが多くなっています。

アデノウイルスは、非常に感染力が強く、アルコール消毒が効きにくいいため注意が必要です。

アデノウイルス感染症によるのどの所見



アデノウイルス感染症による目の所見



Takahisa SAKUMA. Infant and Children's Pharynx and Skin with Infectious Diseases 2005. P11-19. より引用

Q₂ 主な症状は？

A₂ アデノウイルスは感染する型によって症状が異なります。

・咽頭結膜熱（プール熱）

咽頭炎（のどの痛み）、結膜炎（目の充血）、39℃前後の発熱が数日から1週間続く場合もあります。目の症状としては、充血し、涙が多くなり、まぶしがることもあります。
※結膜炎を伴わず、咽頭炎のみのこともあります。

・流行性角結膜炎（はやり目）

目が充血したり、目やにや涙が大量に出たり、異物感（目がゴロゴロする）を生じたりします。まぶたが腫れ、白目は赤くなる上にむくむこともあります。



・呼吸器感染症

鼻水やせき、発熱などのかぜ症状のほか、のどの痛みや腫れ（咽頭炎、扁桃炎）を引き起こします。咳が悪化して気管支炎や肺炎に至ることもあります。



・胃腸炎

嘔吐や下痢が主な症状で、高熱を来すこともあります。

・出血性膀胱炎

膀胱に感染すると、尿に血が混ざることがあります。



Q₃ 検査方法は？

A₃ アデノウイルスの診断には、主に迅速抗原検査キットが用いられます。

症状に応じて、のどの奥や目の結膜から検体を採取したり、糞便などを用いたりします。結果が出るまでにだいたい5～10分ほどかかります。



Q₄ どのような治療方法がありますか？

A₄ アデノウイルスに対する抗ウイルス薬はありませんので、症状にあわせた治療（対症療法）が中心となります。

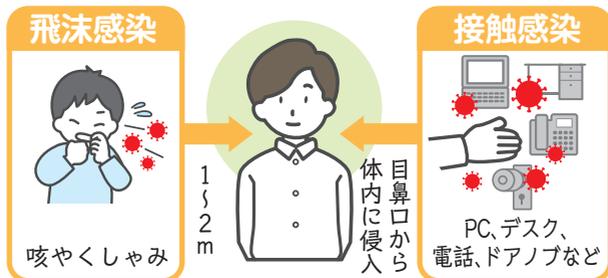
咽頭結膜熱ではのどの腫れや痛みで飲水が困難となることもある上、高熱が長く続くこともあるため、脱水を起こさないよう水分補給が大切です。



Q5 感染経路は？

A5

飛沫感染と接触感染に注意します。



飛沫や接触による感染の他、糞便中にも排泄される特徴があります。1 か月程度ウイルスが排泄されることもありますので、注意が必要です。

Q6 アデノウイルスに感染しないためには？

A6

予防の基本は手洗いとうがいです。

アデノウイルスは感染力が強く、手指消毒用アルコールの効果も低いことが知られています。石鹸やハンドソープを使ってしっかりと手を洗いましょう。

また、タオルの共用は避けましょう。物品などでは、熱処理、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が有効です。

Q7 学校や職場はいつから行けますか？

A7 学校保健安全法施行規則では、以下のよう
に定義されています。

- 咽頭結膜熱

主症状が消退した後2日を経過するまで

- 流行性角結膜炎

医師が感染のおそれがないと認めるまで

成人の通勤や通学に関して特に法令上の規定はありませんが、回復するまで控えることが望ましいでしょう。

咽頭結膜熱（プール熱）

子どもたちがプールに入る夏場に流行することから“プール熱”と呼ばれていましたが、近年ではプールの水質管理も徹底され、必ずしも感染源になるわけではないと考えられます。



2024年11月作成
QA2404001
(1007255) HK